

スノーマンズ・ライフ
Sn❄erman's Life
プロジェクト
企画書

(有限責任事業組合)スノーマンズ・ライフ

今、北海道を取り巻く環境が厳しいなか、道民が元気になれる新しい気運と試みが求められています。たとえば『雪まつり』は、海外の観光客の増加に反して、国内観光客が減少し、市民から遊離した観光資源としての『雪まつり』になりつつあり、市民の中では温度差が生じています。

『雪像づくり』は自衛隊と一部ボランティアや海外からの雪像づくりの参加者によって支えられています。観賞にたえられる雪像づくりの技術を受継ぐことも必要です。その歴史や原点を振り返り新しい魅力づくりと市民参加型の「雪まつり」として、観光客誘致の役割だけではなく、市民、商業施設、飲食店が一体になれる気運と魅力づくりが必要と思われます。

北海道は豊富な観光資源を保持しながら、何かもの足り無さを感じてしまうのは、道民そのものの意識にあるのではないか？、道民がかかえている『モヤモヤ感』・『閉息感』の中で、道内各地で新しい試みに動いている人たちもいます。新しい気運、試みの核と成るコンセプトが必要ではないか？

北海道を愛し、地域と共に前向きに生きる人々が共有できる
生き方や暮らすし方、道民や地域が共有できる気運を構築できれば、
「地域の連携や新しい試み」の下地づくりになるのでは……………。

北海道を愛し、
地域と共に前向きに生きる人々や
ネットワーク、新しい事にチャレンジする生き方。

土の人

- 道産子と呼ばれる人
- 北海道に根ざし地産地消に生きる人
- 北海道に根ざし地域活性に生きる人
- 地元と共に新しいビジネスに生きる人
- 自然資産保護の活動を行っている人
- アウトドアを楽しんでいる人
- アウトドアスポーツを楽しんでいる人
- 北海道の四季を楽しんでいる人
- アートやもの作りを楽しんでいる人
- 北海道を元気にしたいと考えている人
- 森を育ててる人・街づくりに情熱を持ってる人
- 福祉や未来の子供達のために頑張ってる人
- 北海道発の音楽を発信してる人
- etc

風の人

- 北海道を離れ戻ってきた人
- 北海道に移住してきた人
- 転勤で北海道に住んでいる人
- 北海道を離れているが戻りたいと思っている人
- 北海道に憧れる人
- 北海道の四季を楽しんでいる人
- 自分流の生き方を模索している人
- 新しいビジネスを考えている人
- 北海道の暮らしを楽しんでいる人
- アート制作のために北海道を選んだ人
- 北海道にこだわり写真を撮っている人
- etc

北海道の風土を見直し、
地域と共に生きる人々

スノーマンズ・ライフ Snowman's Life

風の人、土の人
が連携して北海道の
新しい風土をつくり北海道を元気に。

新プロジェクトの設立

スノーマンズ・ライフ
Sn❄wman's Life

『スノーマンズ・ライフ』は北海道を元気にする共感キーワード

観光資源

- 地域資産の掘り起こし
- 地域イベントの見直し熟成
- 地域の独自性
- 自然環境保護
- 地域の人々
- etc

地域経済

- 地域ブランドの創造
- 基幹産業の発展
- ものづくり
- 産学官の連携
- ITの推進
- 通信インフラの充実
- etc

生活環境

- 気候・風土を楽しむ
- 自然環境に親しむ
- 自然と共生
- 農業・漁業からの恩恵
- 地域医療
- etc

北海道に愛着を持ち、地域と共に模索する生活者



北海道の活性化と、元気人のネットワークづくり。
新しい事にチャレンジする気運づくり。

スノップル・プロジェクト

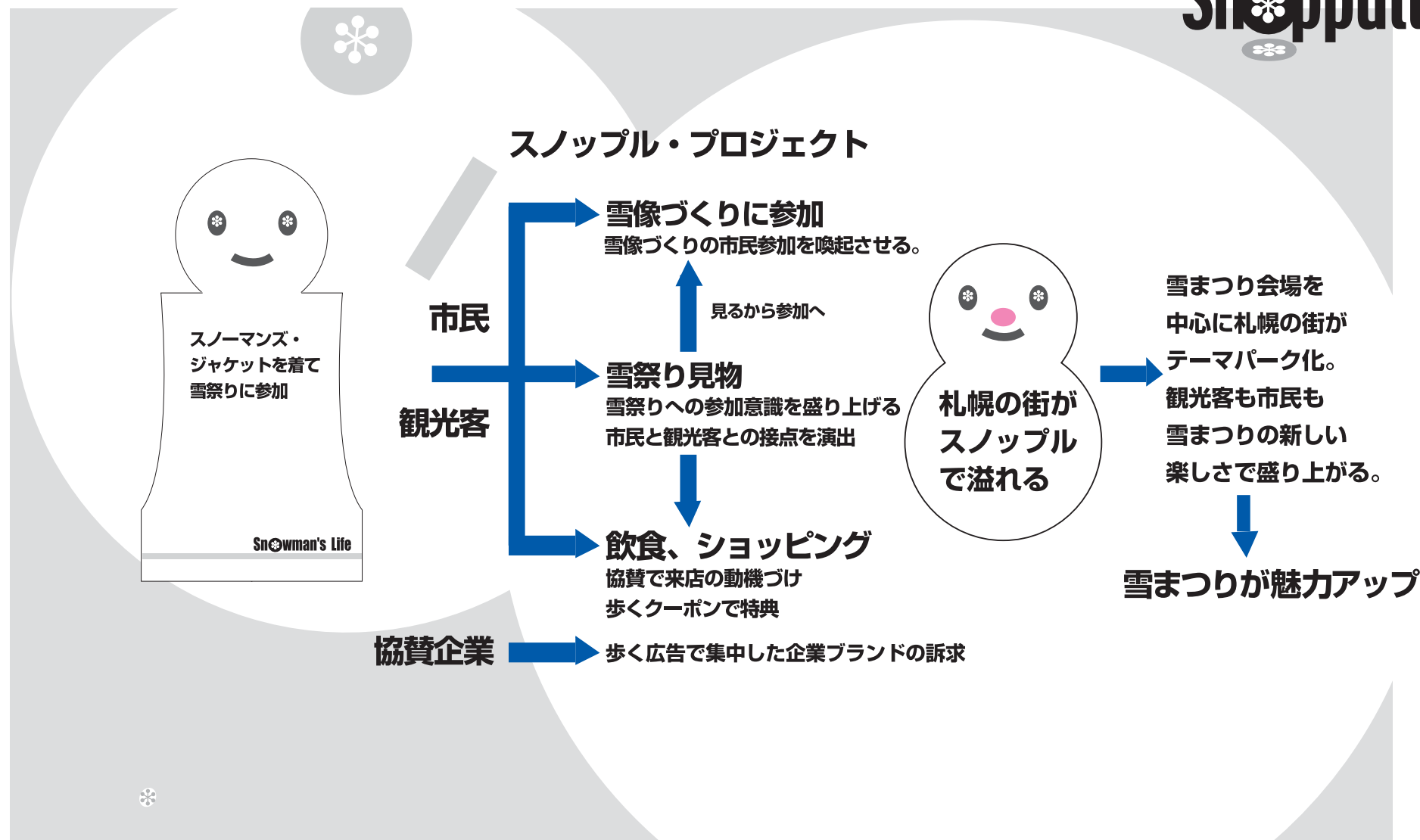
『雪まつり』をハロウインの日のように大人も子供も『ゆきだるま』のスタイルになって、市民が参加し楽しむイベントに魅力アップするプロジェクト。札幌の街中をテーマパークのように、見る『雪まつり』から参加する『雪まつり』へ。雪像づくりに参加する人達や市民、観光客、飲食店、商業施設、みんなが楽しめる魅力づくりを展開します。



ゆきだるまのキャラクター
Snow + Snappy + Pull
雪 元気の良い 引きつける

スノップル
Snoppull





スノップル

雪まつり会場の雪像づくりでスノップル

Sno*ppull



スノップル

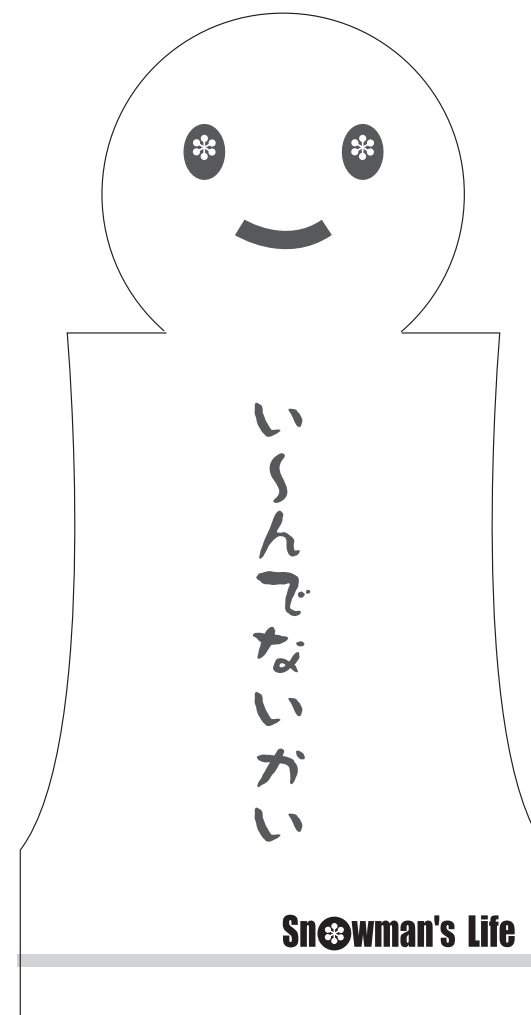
街角でスノップル

Snopull



方言例

スノーマンズ・ジャケット （北海道の方言入りイメージ）



有限責任事業組合スノーマンズ・ライフ 組織図

